

ライチ便り No. 24

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2014年7月号～

<http://lychee-club.jp/>

うっとうしい梅雨空が続いていますが、博多山笠が終わったので、福岡地方はいよいよ多夏本番を迎えます。季節は着実にうつろっていきますね。

我がライチ倶楽部は4月の総会以降、このところかなり集中的に活動を展開しています。言い訳めいて恐縮ですが、多忙にかまけて、6月末に発行すべきライチ便り24号が今になってしまいました。

今回は6月末までの活動をご報告します。

今年の総会はたくさんの出し物で賑やかでした

設立6周年を迎えた福岡広州ライチ倶楽部。今年の総会は奇しくも設立日と同じ4月23日に行いました。事務局長の時間配分の読み違えで、総会の予定時間は前年度の活動報告でほぼ費やしてしまい、「あとは資料の通りで」という議長の言葉に、出席者一同笑いながらの拍手で終了しました。申し訳ありません…。

続いて行われた懇親会は、福岡市女性翼の会の疋田初美さんによる「相撲甚句」「南京玉すだれ」と林美佐子さんによるフラダンスで大いに盛り上がりました。

来賓としてご臨席くださっていた中国総領事館の霍穎副総領事、韓昇良領事も演技に参加して下さり、とても和やかなひと時となりました。



総会の光景



南京玉すだれ



華麗なフラダンス

飲茶会を早めて実施しました

6月13日に第8回目の飲茶会を行いました。これまでは10月以降に行うことが慣例になっていましたが、会場のあいれふが、改修工事のため7月からは使えなくなるため、6月末までに実施する必要があったからです。

急なお願いにも拘らず、今回も福新楼の王和雄総料理長が日程を調整してご指導くださいました。

「手に入れやすい材料で家庭的な中華料理を」とレシピを選んでくださり、果物をたくさん使った酢豚など3種類の料理を教えていただきました。



懐かしい友人たちが来福されました

今年は福岡広州友好都市の35周年です。3月に来福した広州市人民対外友好協会副会長の劉保春さんが「これまでに交流事業に参画したことのある人々を福岡に派遣して、福岡の友人と再会させたい」と仰っていましたが、6月28日に実現したのです。

一行は元広州市外事弁公室主任の方曉明さんと、その後継者の朱小焱副主任、呂偉さん。他に広州市の文化界、新聞界の方々で総勢6人。福岡側も旧知の人々を中心に、調印式が行われたホテルニューオータニ博多の“五羊の間”でお迎えしました。



再会を喜ぶ倪さんと西川先生

元粵劇トップスターだった倪惠英さんは、35年前友好都市締結式に参加するため楊尚昆市長と一緒に福岡に来た一人で、その後も地元の舞踊家西川鯉近先生と何度も交流されたことがあったのでとりわけ懐かしく、90歳のご高齢で今なお舞台活動をなさっている西川先生との再会に、一同大感激でした。

* 当倶楽部のHPとブログを開設しました。標記のアドレスに是非アクセスして下さい。

* 未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：5000円 団体：一口10000円です。

* 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。 連絡先：y-chiba.naga@hb.tp1.jp または info@lychee-club.jp